

事務事業 No./名 称	■サービス部門 都整-36		管渠維持管理費							
	□支 援 部 門									
主管課	下水道河川課(下水道課)		関連課	作業センター、浄化センター、道水路管理課						
分野名	下水道・河川									
目標 (目標値)	・汚水管渠施設の適切な維持管理を行い、機能維持を図る。 ・大雨時、汚水本管が満管状態で使用できない水洗便所を使えるようにする。									
人口等の データ	データ区分	23年度	22年度	21年度	備 考					
	人 口	177,204人	177,161人	176,669人	・各年4月1日 (住民基本台帳)					
	世 帯 数	79,217世帯	78,812世帯	78,131世帯						
	事業の対象者数	171,528人	171,165人	171,024人						
運営資源 状 況	決算値(千円)	71,589	65,882	67,725						
	(国・県)									
	(負担金等)									
	(一般財源)	71,589	65,882	67,725						
	人員配置数	1.1	1.1	0.9						
	人 件 費(千円)	9,605	9,665	7,978						
	協 働 の パートナー									
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	81,194	75,547	10,740						
	市民1人当 りの経費(円)	458	426	456						
	対象者1人 当りの経費(円)	473	441	473						
ベンチマーク (県内外自治体 や民間団体と の比較値)	団体名⇒	鎌倉市	小田原市	厚木市	大和市	海老名市				
	管渠維持管理費(百万円)	240	130	194	114	129				
	処理人口(千人)	171.2	159.6	193.0	211.7	122.0				
	対象者一人当り(円)	1,402	815	1,005	538	1,057				
指 標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(年度)			
管渠浚渫延長	×	目標値	実数	実数	実数					
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △目標を越え 〇後退		実績値	31,019	31,278	29,268					

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H23決算値	評価	適切＝○、要改善＝△(評価の視点を参照)	⇒	方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止
管渠維持管理費	71,589千円	①効率性 △	②妥当性 ○	③有効性 ○	④公平性 ○	⇒ □A ■B □C □D □E
	事業の概要	汚水管渠等施設の維持修繕工事、管渠等浚渫委託を実施				
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					

事務事業の課題及び取組状況

H23年度の課題	・道路舗装の悪いところが多く、マンホール蓋との段差が生じ騒音・振動等の苦情が増えて対応が追いつかなくなっている。 ・取付管の継手部から木の根が進入し、管渠の閉塞事故等が多く発生している。
課題解決のための取組	・緊急での対応については、作業センター及び委託業者と連携を図りながら、実施している。
未解決の課題	・道路舗装に伴うマンホールの高さ調整や管路施設の老朽化による修繕等、予定箇所以外の浚渫や緊急補修箇所が増加する中で、工夫しても苦情を減らせない状況である。

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切＝○ 要改善＝△ (評価の視点を参照) 	①効率性	△	今後の 方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止 ・予算の配分を変えるなどして、苦情等に即応できる体制を構築し、市民生活への影響を最小限にする。 ・苦情内容のデータ化を図り、原因解明に役立て根本的な対策を検討する。	※□事業完了		
		②妥当性	○				課長等名	
		③有効性	○				B	下水道河川課課長代理 杉田 公敬
		④公平性	○					

(2面) 個別事業の概要

(単位:千円)

小事業名		ザイムスコード	個別事業名	23年度予算	23年度決算値	個別事業の評価結果	
管渠維持管理費	主な個別事業	536	消耗品費	140	139	■適切	□見直し余地あり
		536	汚水管渠等維持修繕料	12,000	16,995	■適切	□見直し余地あり
		536	汚水管渠等しゅんせつ委託料	50,000	49,993	□適切	■見直し余地あり
		536	市内各所マンホール蓋・受枠交換工事及び路面復旧工事	5,000	4,463	■適切	□見直し余地あり
	主な個別事業					□適切	□見直し余地あり
	主な個別事業					□適切	□見直し余地あり
	主な個別事業					□適切	□見直し余地あり
	主な個別事業					□適切	□見直し余地あり